

1

原子力災害ってなに？

➡ 原子力発電所の外に放射性物質が放出されることで起こる災害のことです。

原子力発電所で事故が発生するとどうなるの？

- 放射性物質が放出される場合があります、被ばくするおそれがあります。
- 放射性物質は雲のようなかたまり(放射性プルーム)となって、風下側に広がっていきます。
- 被ばくには体の外部から放射線を受ける「外部被ばく」と、呼吸や飲食により放射性物質を取り込み体の内部から放射線を受ける「内部被ばく」があります。
- 内部被ばくを少なくするために、付近で取れた飲食物の摂取制限を行う場合があります。
- 原子力発電所の状況によっては、避難や屋内退避が必要となる場合があります。

原子力災害の特徴とは？

- 放射性物質は、目に見えず臭いもしないなど五感では感じるできません。そのため、原子力災害の場合は風水害や火災などとは違い、身体への影響の程度や、どのように行動すればよいかを自ら判断することが困難です。
- 原子力災害に対処するためには、国、県、市町からの正確な情報に従い、落ち着いて行動することが大切です。

【災害発生時のイメージ図】

※放射性物質や放射線は目に見えません

